

始業式校長講話

入学式の時に、私の好きな花はチューリップであることをお話ししました。

チューリップは、赤、白、黄色、どの花見てもきれいです。

人それぞれに好みはあるので、好きな花はみんな違うと思いますし、どの花もきれいです。

田んぼのあぜ道には、名前も知らない花が、春のそよ風に揺れています。春になって、一斉に咲きほこる小さな花を見て、私は笑顔になりました。

どうして、私たちは、花を見ると笑顔になるのでしょうか。

さて、皆さん。

皆さんは一人一人、違う夢や可能性を持つ存在です。そして、あなたが一生懸命に過ごしているその姿そのものが、あなたを大切に思う人たちに、勇気や希望を与えてくれます。

新しい学年が始まろうとする今、ここに集う一人一人が、かけがえのない大切な存在であることを、ここに集う全員で確かめ合いたいと思います。そして、自分と同じように、他の人も大切な存在であることを確かめ合いたいと思います。一人一人が安心して、自分の花を一生懸命に咲かせられるような一年であることを願って、始業式の話にしたいと思います。

新しい一年、みんなで力いっぱいスタートしましょう。